

詳細集計は、就業者、完全失業者などの状況を特定調査票により詳しく調査・集計したものです。同時期の完全失業率などの基本集計の結果については、平成20年10月31日に公表済です。

## 【平成20年7～9月期平均（詳細集計）】

### 結果の概要

#### 雇用者（非正規の職員・従業員の割合）

- ・雇用者（役員を除く）に占める非正規の職員・従業員の割合は34.5%。  
前年同期に比べ1.2ポイントの上昇。4期連続の上昇
- ・男性は19.7%。前年同期に比べ1.6ポイントの上昇。  
女性は53.6%。0.2ポイントの上昇
- ・年齢階級別にみると、55歳以上は49.1%。前年同期に比べ3.7ポイントの上昇。  
15～34歳は33.0%。1.0ポイントの上昇。  
35～54歳は28.6%。前年同期と同率

図1 年齢階級別にみた非正規の職員・従業員の割合の推移

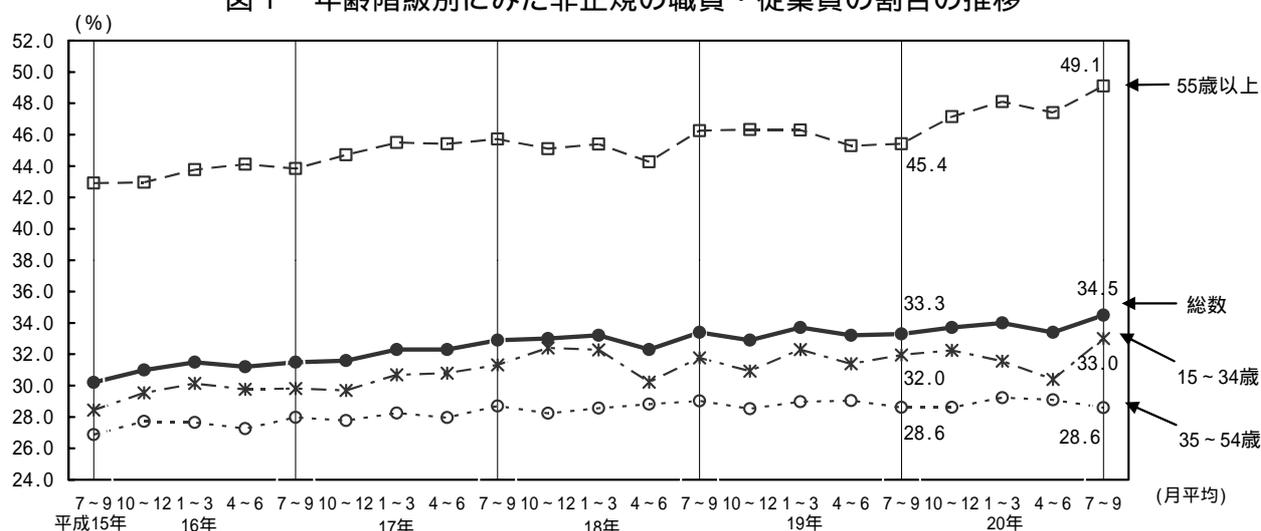


表1 雇用形態別にみた雇用者の内訳及び非正規の職員・従業員の割合の推移

		平成18年		平成19年				平成20年		
		7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
実数 (万人)	就業者	6413	6388	6301	6468	6432	6408	6307	6443	6392
	雇用者	5504	5520	5521	5600	5577	5545	5485	5576	5532
	役員を除く雇用者	5115	5132	5120	5215	5207	5156	5108	5181	5164
	正規の職員・従業員	3408	3443	3393	3483	3471	3418	3371	3449	3385
	非正規の職員・従業員	1707	1691	1726	1731	1736	1738	1737	1732	1779
(非正規の職員・従業員の割合)										
割合 (%)	男	33.4	32.9	33.7	33.2	33.3	33.7	34.0	33.4	34.5
	女	52.9	52.8	54.1	53.1	53.4	53.2	54.2	53.1	53.6
	計									
対前年同期増減 (ポイント)	男	0.5	-0.1	0.5	0.9	-0.1	0.8	0.3	0.2	1.2
	女	0.8	0.0	-0.1	1.1	-0.4	1.0	0.3	0.2	1.6
	計	0.0	-0.6	1.2	0.6	0.5	0.4	0.1	0.0	0.2

注) 割合は、内訳の合計に対するものである。

非正規の職員・従業員は、パート・アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託及び「その他」の合計

## 完全失業者

### 1 失業期間

- ・完全失業者は266万人。前年同期に比べ16万人の増加
- ・失業期間別にみると、「3か月未満」が99万人と最も多く、次いで「1年以上」が79万人
- ・前年同期と比べると、「3か月未満」は12万人の増加、「3～6か月未満」は9万人の増加
- ・割合で見ると、「3か月未満」は前年同期に比べ2.6ポイントの上昇

表2 失業期間別にみた完全失業者の推移

		実数(万人,%)					対前年同期増減(万人,ポイント)				
		平成19年		平成20年			平成19年		平成20年		
		7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
実数	完全失業者	250	249	263	270	266	-23	-12	-9	14	16
	3か月未満	87	89	93	105	99	-9	1	-2	-1	12
	3～6か月未満	40	34	38	39	49	-11	-4	-3	3	9
	6か月～1年未満	41	38	40	33	35	4	-4	-3	0	-6
	1年以上	79	86	89	89	79	-8	-3	2	12	0
割合	完全失業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3か月未満	35.2	36.0	35.8	39.5	37.8	-0.2	1.8	0.1	-2.6	2.6
	3～6か月未満	16.2	13.8	14.6	14.7	18.7	-2.6	-1.0	-0.8	0.4	2.5
	6か月～1年未満	16.6	15.4	15.4	12.4	13.4	2.9	-0.9	-0.8	-0.7	-3.2
	1年以上	32.0	34.8	34.2	33.5	30.2	-0.1	0.2	1.5	2.9	-1.8

注) 割合は、内訳の合計に対するものである。

### 2 仕事につけない理由

- ・仕事につけない理由別にみると、「勤務時間・休日などが希望とあわない」(32万人)は前年同期に比べ11万人の増加、「条件にこだわらないが仕事がない」(21万人)は3万人の増加

表3 仕事につけない理由別にみた完全失業者の推移

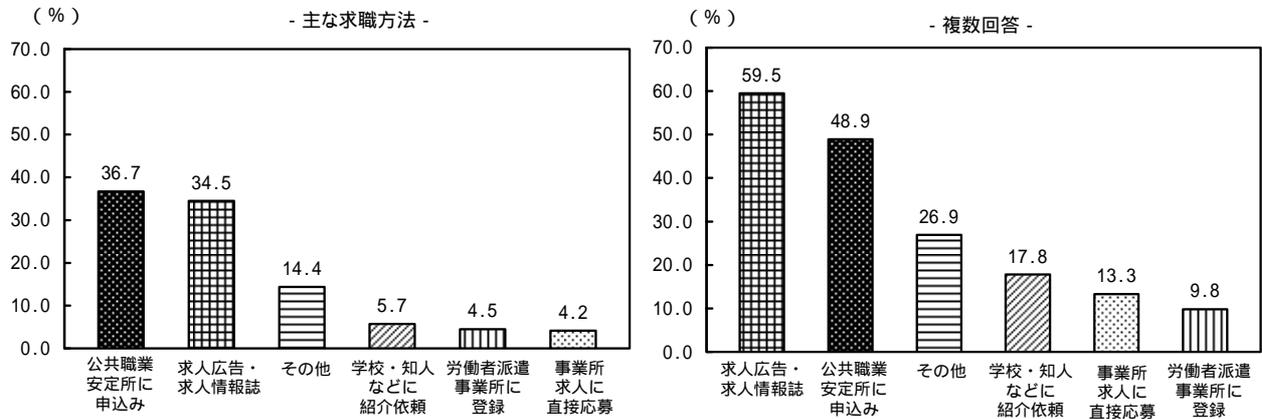
		実数(万人,%)					対前年同期増減(万人,ポイント)				
		平成19年		平成20年			平成19年		平成20年		
		7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
実数	総数	250	249	263	270	266	-23	-12	-9	14	16
	賃金・給料が希望とあわない	20	24	23	22	17	0	5	-1	1	-3
	勤務時間・休日などが希望とあわない	21	23	26	29	32	-3	-2	-1	6	11
	求人の年齢と自分の年齢とがあわない	46	50	42	43	41	-2	-2	-9	-3	-5
	自分の技術や技能が求人要件に満たない	16	17	16	11	18	-1	-2	1	-5	2
	希望する種類・内容の仕事がない	81	70	78	84	83	-7	-8	-4	3	2
	条件にこだわらないが仕事がない	18	22	26	24	21	-6	1	5	4	3
	その他	46	40	47	53	50	-5	-5	0	7	4
割合	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	賃金・給料が希望とあわない	8.1	9.8	8.9	8.3	6.5	0.7	2.5	-0.1	0.0	-1.6
	勤務時間・休日などが希望とあわない	8.5	9.3	10.1	10.9	12.2	-0.3	-0.4	0.0	1.8	3.7
	求人の年齢と自分の年齢とがあわない	18.5	20.3	16.3	16.2	15.6	0.9	0.2	-2.8	-2.0	-2.9
	自分の技術や技能が求人要件に満たない	6.5	6.9	6.2	4.1	6.9	0.2	-0.4	0.6	-2.2	0.4
	希望する種類・内容の仕事がない	32.7	28.5	30.2	31.6	31.7	0.3	-1.6	-0.5	-0.4	-1.0
	条件にこだわらないが仕事がない	7.3	8.9	10.1	9.0	8.0	-1.5	0.8	2.2	1.1	0.7
	その他	18.5	16.3	18.2	19.9	19.1	-0.3	-1.1	0.6	1.7	0.6

注) 割合は、内訳の合計に対するものである。

### 3 求職方法

- ・主な求職方法別の割合をみると、「公共職業安定所に申込み」が36.7%と最も多く、次いで「求人広告・求人情報誌」が34.5%
- ・複数回答<sup>(注2)</sup>でみると、「求人広告・求人情報誌」が59.5%と最も多く、次いで「公共職業安定所に申込み」が48.9%

図2 完全失業者の求職方法別割合



注1) 求職方法の「その他」には、「民間職業紹介所などに申込み」、「事業開始の準備」、「その他」が含まれる。

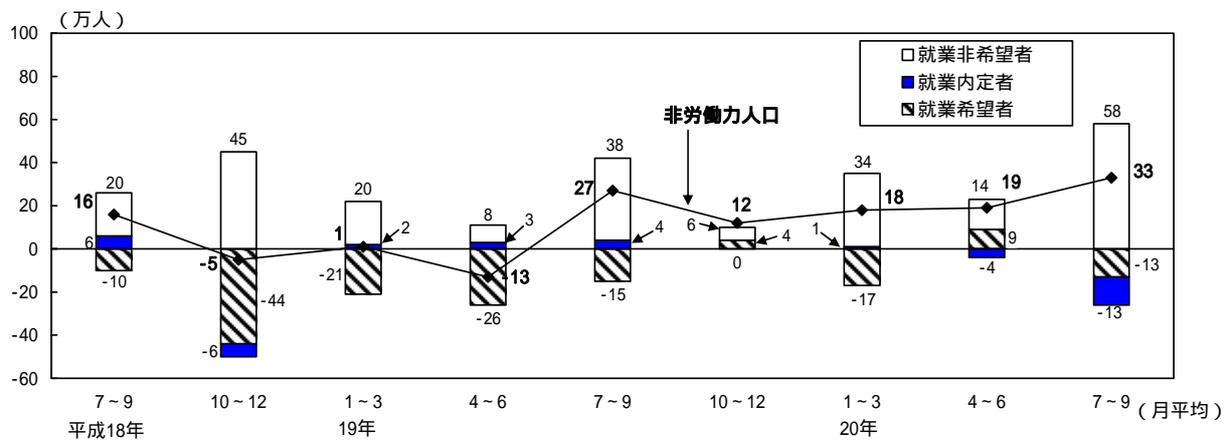
注2) 複数回答は、求職方法として当てはまる回答すべてを集計したものであり、合計は100%以上となる。

### 非労働力人口

#### 1 就業希望の有無

- ・非労働力人口は4372万人。前年同期に比べ33万人の増加
- ・就業希望者（就業を希望しているものの、求職活動をしていない者）は450万人。前年同期に比べ13万人の減少
- ・就業非希望者は3832万人。前年同期に比べ58万人の増加

図3 就業希望の有無別にみた非労働力人口の対前年同期増減の推移



## 2 非求職理由

- ・就業希望者を非求職理由別にみると、「適当な仕事がありそうにない」(148万人)は、前年同期に比べ9万人の減少。  
 「家事・育児のため仕事が続けられそうにない」(117万人)は1万人の減少。  
 「健康上の理由」(66万人)は同数
- ・「適当な仕事がありそうにない」のうち「仕事があればすぐつける」(53万人)は前年同期と同数。このうち「過去1年間に求職活動あり」(36万人)は2万人の増加

表4 就業希望の有無，非求職理由別にみた非労働力人口

平成20年7～9月期平均	実数(万人)			対前年同期増減(万人)		
	男女計	男	女	男女計	男	女
非労働力人口	4372	1442	2929	33	25	7
就業希望者	450	111	338	-13	-5	-9
適当な仕事がありそうにない(以下5項目の合計)	148	39	108	-9	-4	-5
近くに仕事がありそうにない	30	7	23	0	-2	2
自分の知識・能力にあう仕事がありそうにない	18	8	10	-3	0	-3
勤務時間・賃金などが希望にあう仕事がありそうにない	58	10	48	-4	-1	-3
今の景気や季節では仕事がありそうにない	9	4	5	-1	0	-1
その他適当な仕事がありそうにない	32	10	22	-1	-1	1
家事・育児のため仕事が続けられそうにない	117	1	116	-1	0	-1
健康上の理由	66	25	40	0	-1	0
その他	102	40	62	-8	-1	-7
就業内定者	88	45	43	-13	-11	-2
就業非希望者	3832	1285	2547	58	41	18

図4 就業希望の非労働力人口の推移

